

平成 25 年 2 月 1 日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 9 件
(うち石油ストーブ(開放式) 7 件、
密閉式(BF式)ガス給湯付ふろがま(LPガス用) 1 件、石油温風暖房機 1 件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 2 件
(うち直流電源装置(携帯電話機用) 1 件、
浴槽用温水循環器(24時間風呂) 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 11 件
(うち携帯電話機 1 件、エアコン 1 件、電気カーペット 1 件、電気あんか 1 件、
エアコン(室外機) 1 件、湯たんぽ 1 件、湯たんぽカバー 1 件、
凍結防止用ヒーター 1 件、運動器具(EMS機器) 1 件、
脚立(はしご兼用)(アルミニウム合金製) 1 件、靴 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報専門調査会及び第三者委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）について（管理番号A201200830）

① 事象について

株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）を焼損する火災が発生しました。当該製品の使用状況を含め、当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコール（無償点検・修理）について

当該製品を含む平成12年以前に製造された石油ストーブ及び石油温風暖房機（石油ファンヒーター）（下記③）に付属するカートリッジタンク（よごれま栓タンク）については、長期間の使用による給油口の変形などの要因により、給油口がロックされたと使用者が誤認する「半ロック状態」になる事象が発生することが確認されています。石油ストーブ等の給油作業時に、給油口ふたのロック確認を行わなかった場合、給油タンクの給油口が「半ロック状態」で維持されていたことで、ストーブ等に戻す際にふたが開き、灯油がこぼれて火災になる可能性があります。

同社は、平成20年9月17日にプレスリリース、翌18日に社告を実施し、石油ストーブ等に付属するカートリッジタンク（よごれま栓タンク）使用時の注意喚起をするとともに、販売店の店頭及び消費者へのアフターサービス訪問時におけるチラシ配布、テレビCM等により、平成12年以前に製造された石油ストーブ等の給油タンクについて、無償点検・修理（給油口ふたの半ロック状態を防止するため、ふたの開閉ちょうつがい部にスプリング機能を追加）を呼び掛けています。さらに、平成23年には、これまでの対策に加え、2月から灯油販売所への店頭チラシの配布、製品購入時におけるチラシの同梱を開始しました。

③ 対象製品等：対象製品名、機種・型式、製造期間、製造台数

- (i) 対象製品名 : コロナ石油ストーブ等に付属のカートリッジタンク（よごれま栓タンク）
- (ii) 機種・型式 : 平成12年以前に製造されたコロナ石油ストーブ等で、下表に示す型式に該当するもの
- (iii) 製造期間 : 昭和62年（1987年）～平成12年（2000年）

石油ストーブ(反射型)

製造年(西暦)	型 式			
1987	SX-1800DX	SX-2200DX		
1988	SX-1800	SX-2200	SX-1800DXA	SX-2200DXA
1989	SX-1810	SX-2210	SX-3000	
1990	SX-1820	SX-2220	SX-3020	
1991	SX-1840	SX-2240	SX-3040	
1992	SX-1850	SX-2250	SX-2250X	SX-3050
1993	SX-1860	SX-2260	SX-3060	
1994	SX-1870	SX-2270	SX-3060	
1995	SX-1880Y	SX-2280Y	SX-3080Y	
1996	SX-1800Y	SX-2200Y	SX-3080Y	NX-22Y
	RX-D18Y			
1997	SX-B21Y	SX-B26Y	SX-B35Y	SX-B27WY
	NX-26Y	RX-B21Y	RX-B26Y	
1998	SX-C210Y	SX-C260Y	NX-26Y	
1999	SX-D27WY			
2000	SX-E210Y	SX-E260Y	SX-E21Y	SX-E26Y
	SX-B35YA	SX-D27WYA	NX-26YA	KM-D27WY

石油ファンヒーター

製造年(西暦)	型 式			
1993	FH-3360AYL			
1994	FH-2570Y	FH-3270Y	FH-3370AYL	GT-2570Y
	GT-3270Y	FK-F250	FK-F320	KH-A25Y
	KH-A32Y	KH-3207Y		
1995	FH-2580Y	FH-3280Y	FH-5580Y	FH-2580AY
	FH-3380AY	NH-2580Y	NH-3280Y	GT-2580Y
	GT-3280Y	KH-B25Y	KH-B32Y	FK-G250
	FK-G320	AH-3280Y		
1996	FH-A30Y	FH-A37Y	FH-A47Y	FH-A60Y
	FH-A30AY	FH-A37AY	NH-A30Y	NH-A37Y
	GT-A30Y	GT-A37Y	GT-A30YJ	KH-A30WS
	KH-A37WS	KH-C30Y	KH-C37Y	FK-H30
	FK-H37			
1997	FH-B30AY	FH-B37AY	FH-B30BY	FH-B40BY
	FH-B50BY	FH-B62Y	NH-B30BY	NH-B40BY
	GT-B30BY	GT-B40BY	KH-B30WS	KH-B40WS
	KH-D30BY	KH-D40BY	FK-J30	FK-J40
1998	FH-C320BY	FH-C430BY	FH-C530BY	GT-C30Y
	GT-C32BY	GT-C53BY	FK-K32	FK-K53
	KCF-A300			
1999	FH-D320BY	FH-D430BY	FH-D530BY	FH-MD30Y
	GT-D30Y	GT-D32BY	GT-D43BY	GT-D53BY
	GT-EG30Y	GT-KS30Y	FK-L30	FK-L32
	FK-L43	FK-L53		
2000	FH-E62Y	FH-EX32BY	FH-EX43BY	FH-EX53BY
	FH-ES32BY	GT-E30Y	KM-30Y	KS-E30Y
	FK-M30	FK-M32	FK-M43	FK-M53
	FJ-V30Y			

- (iv) 製造台数 : 石油ストーブ 2, 090, 000台
石油ファンヒーター 4, 270, 000台
計 6, 360, 000台
- (v) 改修率 : 1. 6% (平成24年12月31日現在)

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・修理を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

また、事業者による点検・修理を受けられるまでの間は、次図に従って、給油口ふたが確実にロックしていることを確認してください。

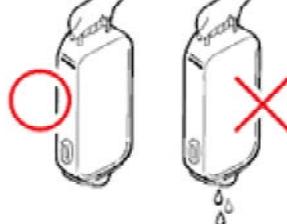
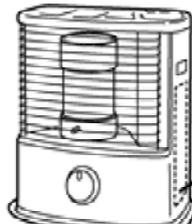
当該製品に限らず、石油ストーブ等に給油する際は、石油ストーブ等を必ず消火した上で、給油タンクのふたを確実に閉め、ふたが閉まっていることを確認し、石油ストーブ等に戻すよう、正しい給油方法に従って安全に給油を行ってください。

(株式会社コロナの問合せ先)

電話番号：0120-623-238

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く。）

ホームページ：<http://www.corona.co.jp/report/oshirase.html>

<p>警告 給油時消火</p> <p>●給油は、必ず消火し、火が消えたことを確かめてからおこなってください。火災のおそれがあります。</p> 	<p>危険 ガソリン厳禁</p> <p>必ず灯油をご使用ください</p> <p>●ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。</p>
<p>警告 油もれ危険</p> <p>●給油後、油タンクの給油口を確実にロックし、開かないことを確認してください。</p> <p>●給油後は、給油口を下にして油もれないことを確認してからストーブにセットしてください。</p> <p>①確実にロック 「パチン」と音が強く押す するまで強く押す</p>  <p>②ロックの確認 持ち上げて確認 給油口をしめたあと、先端を指で持ち上げ、開かないことを確認してください。</p>  <p>③油もれの確認</p> 	
 <p>【製造年の表示位置】</p> <p>△△年製</p>	<p>【対象製品の製造年】</p> <p>2000年製 00年製</p> <p>？</p> <p>1996年製 96年製※ 及び 製造年表示のないもの</p> <p>※ファンヒーターについては94年製</p>

⑤独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）の対応

株式会社コロナ以外の事業者が製造・輸入・販売したガス・石油ストーブのリコール未対策品についても火災事故が発生しているため、独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）においては、平成23年2月18日より事故防止のための注意喚起チラシ「ガス・石油ストーブのリコール製品をお持ちではありませんか？」等をホームページに掲載し、消費者に対して、速やかに事業者に連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

（独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）による注意喚起）

ホームページ：

http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/recall_stove_110218.pdf

http://www.nite.go.jp/jiko/chirashi/data/pdf/57_recall-1.pdf

http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/winter_2011.pdf

(2) コロナ工業株式会社が製造し、株式会社ブリヂストンが販売した浴槽用温水循環器（24時間風呂）について（管理番号A201200843）

①事象について

コロナ工業株式会社が製造し、株式会社ブリヂストンが販売した浴槽用温水循環器（24時間風呂）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償点検・修理）について

販売事業者である株式会社ブリヂストンは、当該製品を含む対象機種（下記③）について、当該製品の内部部品が発熱・発煙し、出火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、平成20年6月30日にホームページへ情報掲載し、同年7月1日に新聞社告を掲載するとともに、使用者へのダイレクトメールの送付により注意喚起を行い、対象製品について無償点検・修理を実施しています。

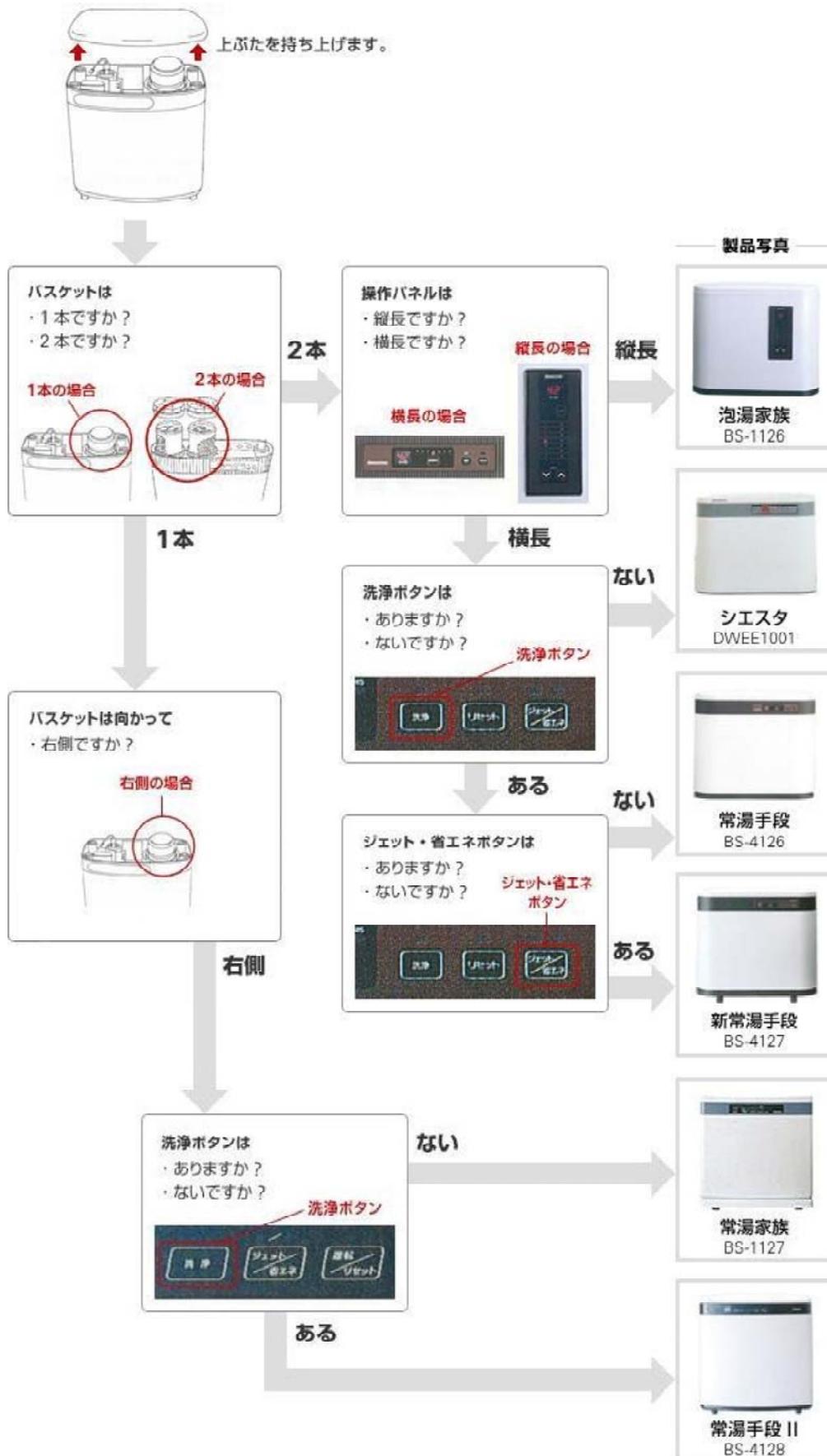
③対象製品等：機種名、型式、製造期間、改修対象台数

機種名	型式	製造期間	改修対象台数
常湯手段	BS-4126	1989年7月～1995年6月	34,383台
泡湯家族	BS-1126	1990年1月～1995年10月	17,352台
シエスタ	DWEE1001	1991年11月～1996年6月	2,405台
常湯手段II	BS-4128	1993年4月～1996年4月	16,628台
常湯家族	BS-1127	1993年2月～1995年8月	1,085台
新常湯手段	BS-4127	1993年3月～1994年7月	655台
合 計			72,508台

改修率

81.5%（平成24年11月30日現在）

対象製品の確認方法： 当該製品の上蓋を持ち上げ、中にあるバスケットの本数や設置位置を確認し、操作パネル・ボタンの表記、特徴を確認することで判別できます。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・修理を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社ブリヂストンの問合せ先)

ブリヂストン24時間風呂専用コールセンター

電話番号：0120-721-290

受付時間：9時～17時（土・日・祝日、事業者指定休日を除く。）

ホームページ：<http://www.bridgestone.co.jp/customer/20080630.html>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当) 担当：大木、長井、川船

電話：03-3507-9204 (直通)

FAX：03-3507-9290

(株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、谷、山田 電話：03-3501-1707 (直通)

FAX：03-3501-2805

(コロナ工業株式会社が製造し、株式会社ブリヂストンが販売した浴槽用温水循環器（24時間風呂）についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、古田、長沼 電話：03-3501-1707 (直通)

FAX：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200828	平成24年12月21日	平成25年1月28日	石油ストーブ(開放式)	SX-E249Y	株式会社コロナ	火災	建物を2棟全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	京都府	事業者が事故を認識したのは、1月17日1月18日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200830	平成25年1月12日	平成25年1月28日	石油ストーブ(開放式)	SX-2240	株式会社コロナ	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	高知県	平成20年9月17日からリコールを実施(特記事項を参照)改修率 1.6%
A201200831	平成25年1月15日	平成25年1月28日	石油ストーブ(開放式)	SX-E28Y	株式会社コロナ	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201200834	平成24年12月31日	平成25年1月28日	石油ストーブ(開放式)	RS-L21	株式会社トヨミ	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	北海道	事業者が事故を認識したのは、1月18日
A201200836	平成25年1月21日	平成25年1月28日	密閉式(BF式)ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	TP-BF3(S)	高木産業株式会社(現 パーパス株式会社)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	青森県	1月23日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済事故1月31日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200840	平成25年1月11日	平成25年1月28日	石油ストーブ(開放式)	LC-32AF	株式会社トヨミ	火災 死亡2名	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が死亡した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	北海道	

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200846	平成25年1月20日	平成25年1月30日	石油温風暖房機	FW-324S	ダイニチ工業株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。ガソリン混合油を誤給油した可能性を含め、現在、原因を調査中。	山形県	1月31日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200847	平成24年12月27日	平成25年1月30日	石油ストーブ(開放式)	KCP-2912WY	株式会社コロナ	火災	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	宮城県	事業者が事故を認識したのは、1月21日
A201200848	平成25年1月12日	平成25年1月30日	石油ストーブ(開放式)	RX-2910WY	株式会社コロナ	火災 死亡1名	建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	北海道	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200827	平成25年1月11日	平成25年1月25日	直流電源装置(携帯電話機用)	MB352J/B	有限会社アップルジャパンホールディングス(現 AppleJapan合同会社) (輸入事業者)	火災	携帯電話を当該製品に接続して充電中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	千葉県	
A201200843	平成25年1月25日	平成25年1月29日	浴槽用温水循環器(24時間風呂)	BS-4128(株式会社ブリヂストンブランド)	コロナ工業株式会社(株式会社ブリヂストンブランド)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	福岡県	平成20年6月30日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 81.5%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200829	平成25年1月14日	平成25年1月28日	携帯電話機	火災 軽症1名	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が負傷した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201200832	平成25年1月11日	平成25年1月28日	エアコン	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の電源コードが改造されていた状況を含め、現在、原因を調査中。	千葉県	製造から25年以上経過した製品
A201200833	平成25年1月12日	平成25年1月28日	電気カーペット	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201200835	平成25年1月7日	平成25年1月28日	電気あんか	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の電源コードが断線しており使用状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	
A201200837	平成25年1月25日	平成25年1月28日	エアコン(室外機)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	広島県	
A201200838	平成24年12月21日	平成25年1月28日	湯たんぼ	重傷1名	当該製品を湯たんぼカバーに入れて使用中、足に低温火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは、1月23日 湯たんぼカバーに関する事故(A201200839)と同一
A201200839	平成24年12月21日	平成25年1月28日	湯たんぼカバー	重傷1名	当該製品に湯たんぼを入れて使用中、足に低温火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは、1月21日 湯たんぼに関する事故(A201200838)と同一
A201200841	平成24年9月	平成25年1月29日	凍結防止用ヒーター	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	福島県	事業者が事故を認識したのは、1月21日

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200842	平成24年12月31日	平成25年1月29日	運動器具(EMS機器)	重傷1名	当該製品を1ヶ月程度毎日使用していたところ、背中と腹部に低温火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは、1月18日
A201200844	平成25年1月10日	平成25年1月29日	脚立(はしご兼用) (アルミニウム合金製)	重傷1名	店舗で当該製品を脚立状態で使用中、バランスを崩して転倒し、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A201200845	平成24年11月28日	平成25年1月30日	靴	重傷1名	トレーニング効果を目的とした当該製品を履いて室内階段を下降中、左足を負傷した。現在、原因を調査中。	北海道	事業者が事故を認識したのは、1月25日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報専門調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し